

令和5年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見 光子

○ 令和5年度重要事業

| 事業名 | 5つの福祉・健康計画の策定 |
|-------|--|
| 目標 | 市民ニーズを捉えた、より効果的な福祉施策を展開できるよう「射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」、「第3次障がい者基本計画及び第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」、「国民健康保険 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第4期特定健康診査等実施計画」を策定します。 |
| 進捗状況 | 各計画について、ニーズや課題把握のためのアンケート調査等を実施し、それぞれの策定委員会等で基本理念や基本目標等を確認しました。 |
| 今後の対応 | 策定委員会等における素案についての意見交換やパブリックコメントを行い、それらの意見を踏まえ、地域共生社会実現に向けて、それぞれの計画を策定します。 |

| 事業名 | 子育て支援の推進 |
|-------|--|
| 目標 | 産後の心身の負担軽減や孤立を防ぐため、保健師や助産師等の専門スタッフによる相談や産婦同士のつながりを作る場を提供する産後サポート事業「いみずっ子B a b yの会」を新たに実施します。 また、物価高騰の長期化を踏まえ、保育所等の副食費の補助を継続するとともに、必要な経済的支援について適切かつ迅速に取り組めます。 |
| 進捗状況 | 産後サポート事業「いみずっ子B a b yの会」については、9月末まで6回開催し、親子64組の参加がありました。専門職による講義や個別相談のほか、楽しいイベントを取り入れ参加者同士の交流の場となるように努めています。 また、保育所等の副食費については、食材料費値上がり相当分を施設に対し迅速に補助したことにより、保護者への負担転嫁を回避することができました。 |
| 今後の対応 | 引き続き、産婦の心身の安定や孤立の防止に努めます。 あわせて、給食の質を確保するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 |

| | |
|-------|--|
| 事業名 | 全ての世代の健康増進と健康寿命の延伸 |
| 目標 | <p>糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症及び重症化予防等の保健事業に積極的に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。</p> <p>また、働き盛り世代を中心に、自分の健康状態をモニタリングできる「健康アプリとウェアラブル端末を活用した健康管理」を実施し、健康増進を図ります。</p> |
| 進捗状況 | <p>生活習慣病の中でも特に「糖尿病」については、広報、ケーブルテレビ、図書館展示等による普及啓発とともに、保健指導の対象となる方には食事や運動等の生活習慣について個別にアプローチを行っています。</p> <p>また、健康アプリとウェアラブル端末を活用した「いみずヘルスアップ+（プラス）事業」の成果として、参加者の半数以上が1日の平均歩数8,000歩超え、取組前より9割以上が歩数増加、半数以上が睡眠時間増加等、生活行動に変化が現れています。</p> |
| 今後の対応 | <p>今後もさまざまな取組により地域や個人に働きかけることで健康無関心層にもアプローチを図るよう努めます。</p> <p>また、市民の皆さんが自ら楽しみながら健康づくりを継続できるよう支援します。</p> |